

奈良が有する観光資源や歴史・文化資源を活用し、県内への誘客を促進し、観光産業を振興します。

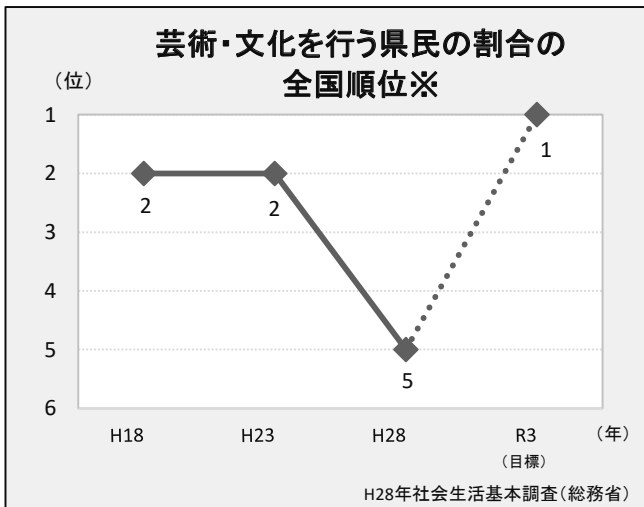
## 質の高いイベントの実施と県の文化力の向上

### 目指す姿

令和3(2021)年度までに、芸術・文化を行う県民の割合を全国1位にします。

主担当部局(長)名  
地域振興部長 山下 保典

### 1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況

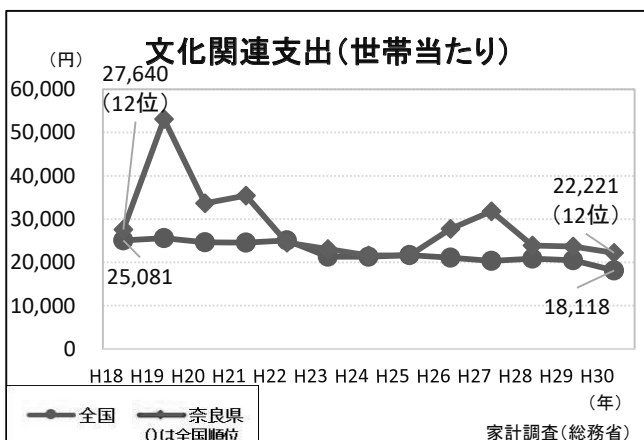


※は数値が低い方が良くなる指標です。

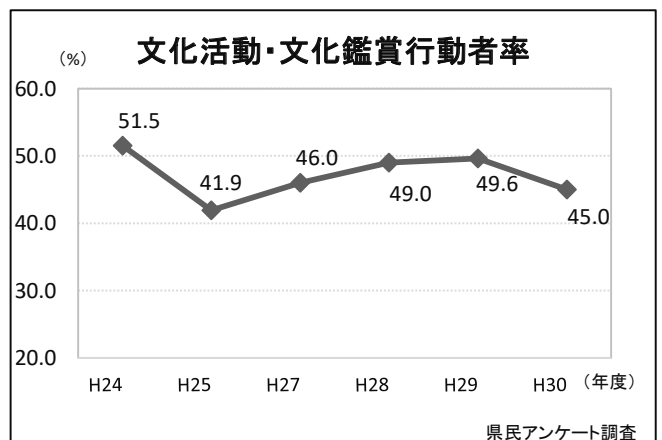
指標	芸術・文化を行う県民の割合の全国順位※(位)			
	基準値	実績値	進捗率(傾向)	目標値
	2	5	順位を3下げました	1
進捗状況	H18 (2006)	H28 (2016)	10 15 年目	R3 (2021)

県民が芸術・文化に親しむ機会の創出を目的として、県内の文化・芸術団体の優れた取組に対して支援する「新たな文化活動チャレンジ補助金事業」を平成23年度から実施しましたが、平成28年度の芸術・文化を行う県民の割合の全国順位が5位に下がりました。目標達成に向け、平成30年度より、奈良の文化力のより一層の向上を図るため、「未来へつなぐ文化活動ステップアップ補助金事業」に改め、文化芸術団体等の将来的な自立を促すとともに、多くの団体が補助対象となる機会を増やしました。

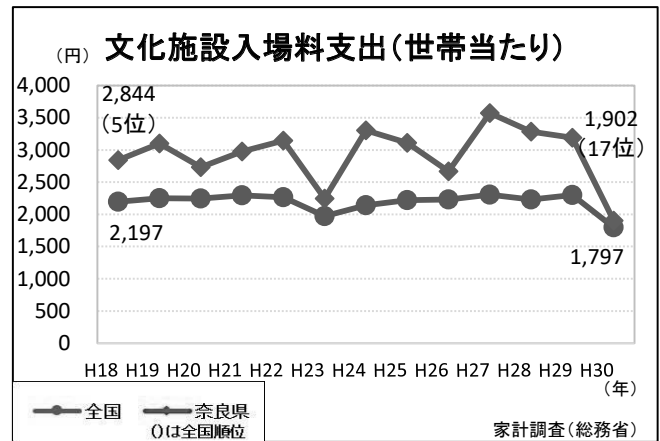
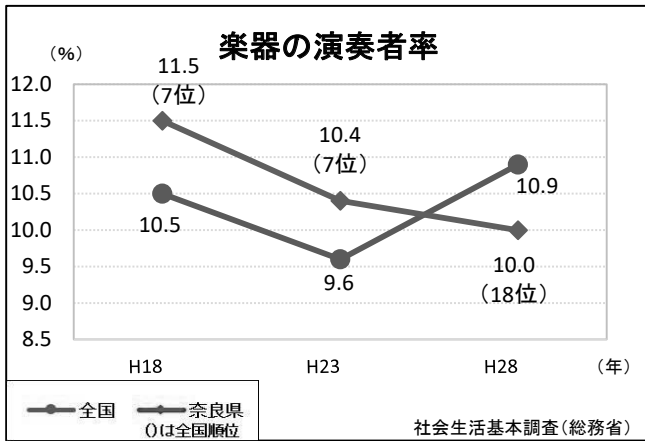
### 2. 現状分析



平成30年の文化関連支出(世帯当たり)は、平成18年と比較して5,419円減少していますが、全国平均を上回っています。(→戦略1)

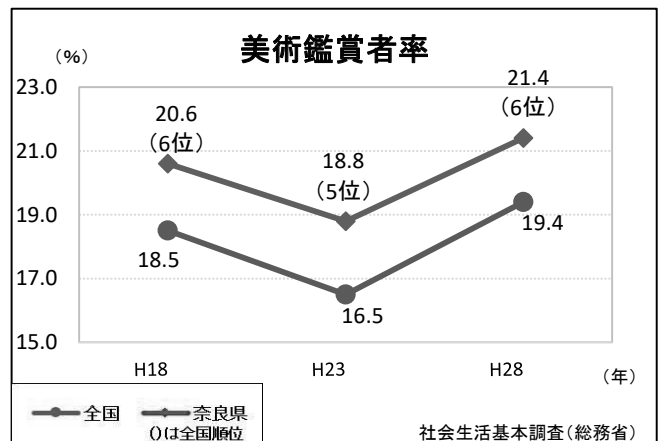
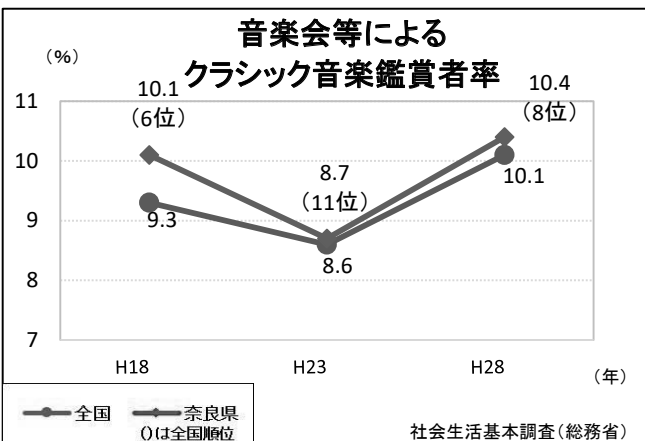


平成30年度の文化活動・文化鑑賞行動者率は、平成24年度と比較して6.5ポイント低下しています。(→戦略1)



平成28年の楽器の演奏者率は、平成18年と比較して1.5ポイント低下しており、全国平均を下回っています。(→戦略1)

平成30年の文化施設入場料支出(世帯当たり)は、平成18年と比較して942円減少していますが、全国平均を上回っています。(→戦略2)



平成28年の音楽会等によるクラシック音楽鑑賞者率は、平成18年と比較して0.3ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。(→戦略1)

平成28年の美術鑑賞者率は、平成18年と比較して0.8ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。(→戦略1)

### 3. 平成29年度の評価及び平成30年度の取組等を踏まえ、令和元年度に向けて見直した内容

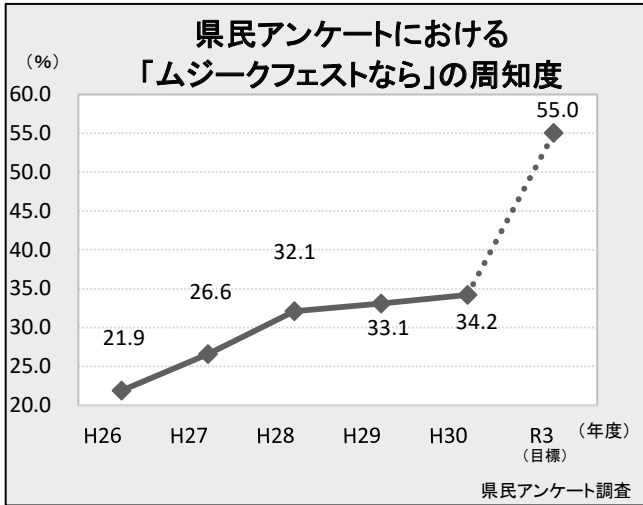
奈良県ゆかりの文献史料、歴史上の人物及びそれらに基づく伝承・旧跡等、幅広い歴史文化資源を活用した地域振興に資する取組を支援している文化資源活用補助金について、平成30年度まで、対象となる時代に制限があった部分を見直し、令和元年度は対象となる時代を拡大、第二次世界大戦終結までの事物を対象とし、より幅広い歴史文化資源に対してサポートできるようにしました。

#### 4. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略1 文化芸術への参加・鑑賞の機会や活動の裾野を拡大します。

主担当課(長)名  
文化振興課長 中野 泰寿

#### 戦略目標



指標 ①	県民アンケートにおける「ムジークフェストなら」の周知度 (%)				
	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
	21.9	↑	34.2	37.2%	55
	H26 (2014)	12.3 ポイント	H30 (2018)	$\frac{4}{7}$ 年目	R3 (2021)

進捗状況  
各種団体や、まちなかカフェ等との連携のほか、中南部東部地域においても公演を数多く実施するなど、県全体への展開について工夫を重ねて実施してきたことにより、平成30年度の「ムジークフェストなら」の周知度は、34.2%となり、平成26年度から12.3ポイント増加しています。

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
② 奈良県大芸術祭及び奈良県障害者大芸術祭のイベント数(催事)	イベント募集チラシの積極的な配布に取り組んだ結果、平成30年度の実績値は714催事となり、基準値から316催事増加しています。	398	↑	714	78.6%	800
		H26 (2014)	316 催事	H30 (2018)	$\frac{4}{7}$ 年目	R3 (2021)
③ 県民アンケートにおける観光やレクリエーションのために県内各地を訪問する目的を「美術鑑賞・展覧会等、演劇・コンサート鑑賞」とする県民の割合 (%)	「ムジークフェストなら」等のイベント開催に精力的に取り組んだ結果、平成30年度の実績値12.1%となり、基準値から1.0ポイント増加しています。	11.1	↑	12.1	25.6%	15.0
		H28 (2016)	1.0 ポイント	H30 (2018)	$\frac{2}{5}$ 年目	R3 (2021)

#### 主な取組指標等

「ムジークフェストなら」の開催(①)		
「ムジークフェストなら」の来場者数(千人)		
38	↑	130
H24 (2012)	3.4 倍	H30 (2018)

県立ジュニアオーケストラ活動の充実(③)		
県立ジュニアオーケストラの団員数(人)		
44	↑	54
H24 (2012)	22.7 %	H30 (2018)

県立美術館特別展の開催(③)		
県立美術館での特別展催事数(催事)		
3	↓	2
H24 (2012)	33.3 %	H30 (2018)

#### 目標達成に向けた成果

平成30年9月～11月に、「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭」の成果を継承した「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」を一体開催し、県内全域において700を超える事業が展開され、県内外から163万人の参加がありました。(②、③)

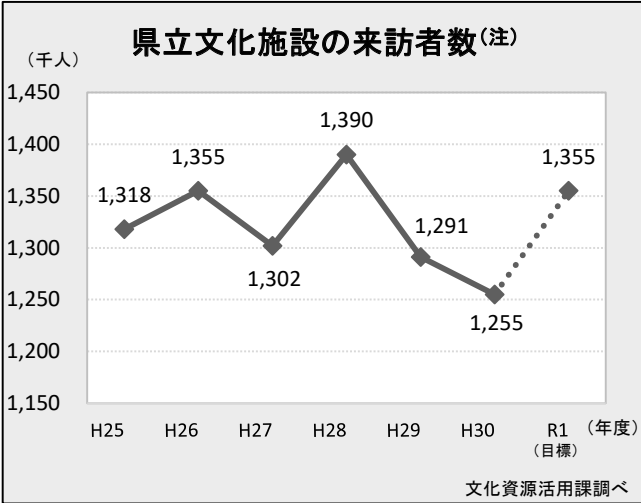
「ムジークフェストなら」において、大型野外コンサートであるムジークブラッツを県営馬見丘陵公園でも初めて開催し、約9,700人が来場するなど、中南和地域への広がりを見せました。(①、③)

「奈良・町家の芸術祭はならあと2018」を開催。39組の作家が出展し、13,600人の来場者がありました。(②、③)

戦略2 歴史を通して、県民の文化への理解を深めます。

主担当課(長)名  
文化資源活用課長 酒元 健司

戦略目標



(注) 奈良県文化会館、橿原文化会館、県立美術館、万葉文化館、民俗博物館、図書情報館、橿原考古学研究所附属博物館の来訪者数を集計しています。

県立文化施設の来訪者数(千人)					
指標	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
①	1,318	↘	1,255	基準値を下回っています	1,355
	H25 (2013)	63 千人	H30 (2018)	$\frac{5}{6}$ 年目	R1 (2019)
進捗状況	平成30年度の県立文化施設の来訪者数は、橿原考古学研究所附属博物館が、改修工事のために平成30年12月末から閉館していること等により減少しています。				

指標	進捗状況	基準値		実績値	進捗率(傾向)	目標値
②	県民アンケートにおける「文化遺産や史跡が大事にされていること」の県民の満足度(ポイント)	3.58	↗	3.97	113.4%(注)	3.50
		H28 (2016)	0.39 ポイント	H30 (2018)	$\frac{2}{5}$ 年目	R3 (2021)
③	県民アンケートにおいて、住みたい理由を「世界遺産や文化財が多く、歴史的な雰囲気を感じるから」とする県民の割合(%)	35.9	↗	37.0	26.8%	40
		H28 (2016)	1.1 ポイント	H30 (2018)	$\frac{2}{5}$ 年目	R3 (2021)

(注) 目標値に対する実績値の割合を記載しています。

主な取組指標等

県立歴史関連施設を核とした施策の展開(③)			県立歴史関連施設を核とした施策の展開(②、③)			記紀・万葉プロジェクトの推進(②、③)		
補助金を通じた整備・活用への支援数(件)			ホームページ「いやす・なら」のアクセス数(件)			補助金を通じた推進への支援数(件)		
26	↗	28	66,348	↗	104,158	17	↗	19
H28 (2016)	7.7 %	H30 (2018)	H29 (2017)	57.0 %	H30 (2018)	H25 (2013)	11.8 %	H30 (2018)

目標達成に向けた成果

文化芸術振興の拠点として整備を進めている「(仮称)奈良県国際芸術家村」の施設名称を「なら歴史芸術文化村」に決定しました。また、平成30年7月に起工式を開催し、建築工事等に着手しました。(②、③)

奈良の仏像海外展示を、平成31年1月～3月フランス・ギメ東洋美術館にて開催しました。また、令和元年10月～11月英国・大英博物館での開催に向け館との交渉を進めるとともに、有識者や所有者、メディア等幅広い分野と連携して事業を推進します。(②、③)

## 5. 令和2年度に向けた課題の明確化

### 目指す姿(再掲)

令和3(2021)年度までに、芸術・文化を行う県民の割合を全国1位にします。

#### <奈良県の持っている強み>

- 1 学習・研究で「芸術・文化」を行う県民の割合が12.9%で、全国で5位
- 2 趣味・娯楽で芸術鑑賞・文化芸術を行う県民の割合が全国的に見て高い分野が多い
- 3 文化芸術活動に関する家計支出額が全国的に見て高い分野が多い
- 4 人口100万人当たりの博物館数が全国12位
- 5 3つの世界遺産をはじめとして文化遺産が豊富
- 6 令和元年7月1日現在、国宝203点、うち建造物については全国最多の64点の全国有数の文化財の所在を誇る

#### <奈良県の抱えている弱み>

- 7 多くの観客を収容できる施設が少なく、トップアーティストの招聘が困難
- 8 文化活動発表の場が少なく、アーティストは県外に活動拠点を求める傾向
- 9 県立の文化施設が老朽化

#### <奈良県への追い風>

- a 景気回復による文化関連消費の増加への期待
- b 歴史的な町並み等の文化的景観が多くの人に見直されつつある。
- c 2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催
- d 奈良県文化振興大綱の策定
- e 「国民文化祭」「全国障害者芸術・文化祭」のレガシーの継承

#### <奈良県への向かい風>

- f 著名なアーティストや作品は大都市での公演、展示に集中する傾向

#### 《強みで追い風を活かす課題》

- [重要課題]**奈良の魅力を高め県民の参加の拡大を図る芸術祭の開催(2,3,a,e)
- [重要課題]**文化における国際交流や国際貢献の推進(5,6,c)
- [重要課題]**なら歴史芸術文化村の整備(1,2,3,5,6,a,b,d)
- ・本県の強みである歴史文化資源活用分野と芸術文化振興分野に力点を置いた施策の推進(1,2,3,4,5,6,a,b,c,d,e)
  - ・文化芸術活動を支える人材の育成(1,3,a,e)

#### 《強みで向かい風を克服する課題》

- [重要課題]**奈良だからこそできる音楽祭の開催(2,3,6,f)
- ・文化芸術団体への支援の拡充・強化(2,3,f)

#### 《弱みを踏まえ追い風を活かす課題》

- ・文化芸術団体や個人が行う発表の場の拡充(8,9,a,e)

#### 《弱みを踏まえ向かい風に備える課題》

- [重要課題]**県立文化施設の整備・改修等(7,9,f)

## 6. 平成30年度の評価及び令和元年度の取組等を踏まえた、令和2年度以降の取組方針

強みで追い風を活かす課題	今後の取組方針
奈良の魅力を高め県民の参加の拡大を図る芸術祭の開催(戦略1)	「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭」の成果を継承した「奈良県大芸術祭」と「奈良県障害者大芸術祭」を一体開催し、障害の有無や年齢にかかわらず誰でも楽しめるような催しを展開することにより、県民の芸術文化活動の裾野の拡大を図るとともに、文化を奈良のブランドとして力強く発信します。
文化における国際交流や国際貢献の推進(戦略2)	平成31年1月～3月フランス・ギメ東洋美術館にて「古都奈良の祈り」展を開催する等、類いまれなる文化資源である県内の仏像等をヨーロッパの著名な美術館や博物館で展示することで、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、「日本のはじまり奈良」を世界に向けて発信し、誘客につなげます。
なら歴史芸術文化村の整備(戦略2)	平成29年度に造成工事、平成30年度に建築工事に着手した、なら歴史芸術文化村を核とした文化芸術の振興により、県民生活に文化芸術が溶け込み、守り育むことへの理解を広げるとともに、次の文化芸術の担い手の育成を図ります。

強みで向かい風を克服する課題	今後の取組方針
奈良だからこそできる音楽祭の開催(戦略1)	「ムジークフェストなら」では、世界遺産をはじめとする社寺等と連携した奈良ならではのコンサートに加え、幅広い世代に音楽に触れてもらう機会を提供することにより、文化芸術活動の活性化や誘客を促進するとともに、「ムジークフェストなら」の周知度を高めます。

## 7. 平成30年度の評価及び令和元年度の取組等を踏まえ、令和2年度以降に見直す内容

弱みを踏まえ向かい風に備える課題	今後の取組方針
県立文化施設の整備・改修等(戦略1,2)	老朽化した県立文化施設については、庁内に設置した「県有施設等耐震検討チーム」での専門家の意見も踏まえ、応急的補強や耐震改修等の整備・改修等を進めます。